

魂を揺さぶる大地の調べ

古来より人々は独自の音楽を追い求め、その精神を受け継ぎ、魂の共鳴を求めてきました。

地球上のあらゆる民族はそれぞれが持つ言語と音階から、
独特の旋律とリズムを生み出してきたのです。

今回は、素朴な音色と自然に調和したメロディーが心を揺さぶる

民俗音楽を題材にした作品を中心に送ります。

奏者と観客の鼓動がひとつになる熱き瞬間をどうぞお楽しみください。

プログラム

バルトーク

ルーマニア民俗舞曲

ルーマニアのトランシルヴァニア地方の民謡に基づく、6曲から成るピアノの小品組曲のオーケストラ編曲版。農民音楽が持つ力強いエネルギーが溢れ出る、民族色豊かで親しみやすい旋律が魅力です。

ドヴォルザーク

チェロ協奏曲 短調 作品104

通称「ドボ・コン」として親しまれる、西洋音楽史中のチェロ協奏曲の中でも人気を誇る名曲。ドヴォルザークの祖国・チェコへの望郷の念と初恋の相手への想いが込められた、美しく哀愁漂う作品です。

伊福部 昭

シンフォニア・タプカーラ

代表作「ゴジラ」と同時期に作曲された、伊福部唯一の交響曲。自身が幼い頃に過ごした北海道のアイヌの踊りをテーマに、血湧き肉踊る、躍動感と土俗的なリズムが混然一体となって、熱狂を生み出します。

指揮
富平 恭平

Kyohei Tomihira



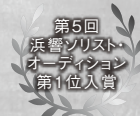
東京生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。指揮を高関健、田中良和、小田野宏之の各氏に師事。群馬交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニー千葉、東京フィルハーモニー交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、東京交響楽団を指揮している。洗足学園大学ピアノ科非常勤講師。オペラでの活動が多く多数の公演で副指揮者、合唱指揮者、コレペティトゥア、ピアニスト、プロンプターなどオペラに関わるあらゆる仕事をつとめている。2006年4月から2010年3月まで東京二期会専属音楽スタッフとして活動し、2010年8月には新国立劇場音楽スタッフ、2019年4月には新国立劇場合唱団指揮者に就任。

チェロ独奏
島宗 楽

Tano Shimamune



2006年生まれ。愛知県出身。第77回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部全国大会第3位。2023いしかわミュージックアカデミー音楽賞。第23回泉の森ジュニアチェロコンクール高校の部金賞。第75回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部大阪大会第1位。第5回浜響ソリスト・オーディション弦楽器部門第1位。国際音楽祭NIPPON2024イェンスペーター・マインツ氏公開マスタークラスチェロ部門受講。刈谷国際音楽コンクール ガラコンサートVol.4出演。2024東京音楽大学付属高等学校実技優等賞。今までに、林良一、荒井結、現在毛利伯郎各氏に師事。



浜松交響楽団 プロフィール

「楽器のまちから音楽のまちへ」との願いをこめて1976年(社)浜松青年会議所により設立。1978年に財団法人となり、2012年4月より公益財団法人へ移行。2026年に創立50周年を迎える。現在団員数120名。

秋と春の年2回の定期演奏会、小学校や中学校でのオーケストラ教室など、地域に根ざした活動を続けている。2000年度サントリー地域文化賞、静岡県知事賞、NHKあけぼの賞、2006年第59回中日文化賞を受賞。

定期演奏会を毎回よいお席、お得な料金で♪
浜響後援会「アンダンテクラブ」友の会

- 定期演奏会の指定席が2割引になります
- ご希望の座席を毎回ご用意いたします
- チケットと機関誌をご自宅までお届けします

詳しくは浜響ホームページ <https://hamakyou.jp> ▶
または浜響事務局まで

浜響HP

